特別 中間指導計画 及び呼極規準	りすることができる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
知知 日本元名	りすることができる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
7	りすることができる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
20	りすることができる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
2	りすることができる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
1	りすることができる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
カかりやすくあらわそう	りすることができる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
# たし質の しかたを 考えよ 1	りすることができる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
1	りすることができる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
### 数の仕組みに着目し、2位数の加速計算の仕方を、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 1	りすることができる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
数の仕組みに審目し、2位数の加速計算の仕方に、図や式などを用いて考えた遺程や諸景を展り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 1	りすることができる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
1	りすることができる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
20世界の 20	りすることができる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
1 5	りすることができる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
字	りすることができる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
# 1	りすることができる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
 最考をはかってあらわる。	りすることができる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
100より大きい数をしら ペよう かいまった かいまた	の体積を測定することができる。
*** *** ** ** ** ** ** * * *	の体積を測定することができる。
6 水のかさをはかってあ らわそう 10や10のまとまりに着目し、十連位取り記数法の仕組みを考え表現したり、数を相対的な大きさからとらえたりしている。 10や10のまとまりに着目して整色調ぐの遺転側では高水を考え表現したり、数を相対的な大きさからとらえたりしている。 10や10のまとまりに着目して整色調ぐの遺転側では高水を増える場合である。 10や10のまとまりに着目して整色調ぐの遺転機・単位の必要性に気づき、身の回りにある入れ物に入る水の体積に割してとらえ。目的に応じた単位で体積を的端に表現したり、比べたり 表さの学習を基に、普遍単位の必要性に気づき、身の回りにある入れ物の特徴をその中に入る水の体積に着目してとらえ。目的に応じた単位で体積を的端に表現したり、比べたり 身の回りにある入れ物に入る水の体積に関心をもう。数学的に表現、処理したことを接り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 10世間のと思えらは、第一年では、10世間のと思えら、数学的に表現、処理したことを接り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 10世間のと思えら、数学的に表現、処理したことを接り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 10世間のともう、数学的に表現、処理したことを接り返り、数理的な処理のよどに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 11日 加速の対象を決定して、10世間とから、数学的に表現、地理したことを接り返り、数理的な処理のよどに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 11日 加速の計算が注について、計算法則、数の鬼方や境承を活用してきる。 11日 加速の計算と近について、計算法則、数の鬼方や境承を活用してきることを知り、それらの業事の仕方について理解し、業事の手腕を基に確実に計算することを 11日 加速の計算となどで必定の減止の禁事と活用して考えた過程や抽具を接り返り、数理的な処理のよどに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 2、3位数の加速となどで必定の減止の業事の仕方と、例や式などを知いそれらの業事の仕方とついて記解し、業事の手腕を基に確実に消費することを 11日 加速のかに振りまました。 2、3位数の加速をからとを用いて考えた過程や抽具を接り返り、数理的な処理のよどに気づき今後の生活や学記に活用しようとしている。 2、3位数の加速となどで必定の機と活用し、2位数の加速をひとを用いて考えた過程や結果を接り返り、数理的な処理のよどに分を令を必要と話や手記に活用しようとしている。 2、3位数の加速となどを用いて考えた過程や結果を接り返り、数理的など処理しまりととが明まる。 2、3位数の加速となどを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよどに気づき今後の生活や学記に活用しなとが明まる。 2、3位数の加速となどを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよどに対しましましましましましましましましましましましましましましましましましましま	の体積を測定することができる。
5カそう (10-100のまとまりに審目して数を調べた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 体機について特定と関定の意味や、単位の関係を構能し、おおその見事や奇数をそのけながら愛の感覚を育につけるともに、体機の単位を適切に薄灰して存の回りにある人札物に入る人 ・ 大きの書を基底、事理性の必要性に反うき。の中国にある人札物に入る人の作権に関心をもち、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 特別と時間の区別、及びは、時、今の単位やそれたの関係を関係し、時間や時間を求めたり、表したりすることができる。 時間の単位に着目し、現立とを用いて利きを考え、説明したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 特別や特別に関心をもち、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 特別や特別を設定しまし、個別などを用いて利きを考え、説明したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 特別や特別に関心をもち、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 特別の中が報に関心をもち、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 1 (10) 中心である人が、大きを選手を表している。 2 (20) の しかたを 考えよ 1 (20) の の しかたを 考えよ 1 (20) の しかたを 考えよ 2 (20) の の しかたを 考えよ 2 (20) の の しかたを 考えよ 2 (20) の の しかた 2 (20) の しかた 2 (20) の の しかた 2 (20) の の しかた 2 (20) の の との 2 (20) の との 2 (20) の 2 (20)	
大きの学習を基に、普遍単位の必要性に気づき、身の回りにある入れ物の特徴をその中に入る水の体積に着目してとらえ、目的に応じた単位で体積を的確に表現したり、比べたり 身の回りにある入れ物に入る水の体積に関心をもち、数学的に表現、処理したことを最予返り、数理的な処理のよるに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 特別の単位に着目し、図などを用いて時期と時間の変別。久然日、時、分の世紀を実施し、助替用を実施した。大きないできる。 時期の単位に着目し、図などを用いて時期と時間の求め方を考え、説明している。 時期の単位に着目し、図などを用いて時期と時間の求め方を考え、説明している。 時期の中位に着目し、図などを用いて時期と時間の求め方を考え、説明している。 時期の単位に着目し、図などを用いて時期と時間の求め方を考え、説明している。 が対したとをもいる。 が対したいる。 はたり、対象のからとは、のからなとは、対象の地のな理ながある。 ()の中を1つの数とみて、式の意味を考え表現したり場面を大に長したりするとともに、3日の数の加油計算について、数量の関係に着目し、結合法則などを基に工夫して計算し はたり、対象の地が表がよった。、大の意味を考え表現したり場面を大に長したりするとともに、3日の数の加油計算について、数量の関係に着目し、結合法則などを基に工夫して計算し はたり、対象の地が表がよった。、対象の地が表がよった。といる。 2 位数の地は及びその逆の波法の対算について、1位数などの基本的な計算を基にできることを知り、それらの筆質の仕たいいて理解し、筆値の手順を基に確実と非常することが はたり、数理的な処理のよるに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 2 2 位数の地域の半算を目し、2位数の地域を分子の空の液体の計算を基にできることを知り、それらの筆質の仕たいでに対象に通りましている。 2 3 位数の地域の半算を目し、2位数の地域を分子の空の液体の単すのように、個々などと用いて考え表現している。 2 3 位数の地域の半算を目について、関やすなどを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよるに気づき今後の生活や学記に活用しようとしている。	
7 時計を生活に生かそう 17 時計を生活に生かそう 18 時間の比別の大きの大きの保護に関心をもち、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 19 時間を生活に生かそう 19 時間を地震の延に着目し、現立と時間の区別、及びは、時、今の単位やそれたの関係を開発し、時期や時間を求めたり、表したりすることができる。 19 時期や時期に関心をもち、数学的に表現・処理した問の水の大きを表、説明している。といているともに、ないました。 19 時期や時期に関心をもち、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 19 日本の変したが、大きの変したり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 19 日本の変したが、大きの変したり場響のといて、計算を関している。 19 日本の変したが、大きの変したり場響の世界と振ります。数学的な思想のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 19 日本の変したが、大きの変したり場響のといて、計算と明、数の見方や構造を活用して考えた過程や健康を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 19 日本の変したが、大きの変したり、数学の出たまでは、大きの変したり、表している。 19 日本の変したが、大きの変したり、発きの変したり、表している。 19 日本の変したが、大きの変したり、大きの変したが、大きの変したが、大きの変したいる。 19 日本の変したが、大きの変しため、大きの変したが、大きの変したが、大きの変したが、大きの変したが、大きの変したが、大きの変したが、大きの変したが、大きの変したが、大きの変したが、大きの変したが、大きの変したが、大きの変しため、大きの変したが、大きの変したが、大きの変したが、大きの変しため、	LTNS.
7 時計を生活に生かそう 1 時期の単位に審日に、仮などを用いて時期と時間の区別、及び日、時、分の単位やそれもの個係を無解し、時期や時期を求めたり、表したりすることができる。 5 時間の単位に審日に、仮などを用いて時期と時間の求め方を考え、設明している。 5 時間の単位に審日に、仮などを用いて時期と時間の求め方を考え、表明している。 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
7 時計を生活に生かそう 時間の単位に着目し、図などを用いて時刻と時間の求め方を考え、説明している。 時期や時間に関心をもち、数学的に表現 ・ 処理したとを展り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 時期の単位に適日し、0 向用い方を増加するとともに、	
特別や時間に関心をもち、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 加圧の総合法則や()の用い方を理解するとともに、簡単な加減が血溶解がさきる。 ()の中といの歌とみえ来更したり場面を対しませた。 ()の中といの歌とみえ来更したり場面を対に表したりするとともに、3 11の数の加速計算について、数量の関係に着目し、結合法則などを基に工夫して計算しまう。 ()の事のしかたを考えよう ()の事のしかたを考えままた。 ()の事のしたのではから表現したのではから表現したのではから表現している。 ()の事のしかになった。 ()の事が表現ではなどを用いて考えまましている。 ()の事が表現ではなどを用いて考えまない。 ()の事が表現では、()の事が表現で	
対策のしかたをくふうし 計算のしかたをくふうし いっ葉のしかたをくふうし は 2 加減の結合法則や()の用い方を理解するとともに、簡単な加減法の暗算ができる。 ()の中を1つの数とみて、式の意味を考え表現したり場面を対に支したりするとともに、31の数の加法計算について、数量の関係に着目し、結合法則などを基に工夫して計算し よう ひっ質のしかたを考えよ しつ質のしかたを考えよ さ の からしかたを考えよ さ さ の からしかたを考えよ さ さ の からしかたを考えよ さ こ など数の加速及びその逆の域法の計算について、1位数などの基本的な計算を基にできることを知り、それらの筆算の仕方について理解し、業事の手順を基に確実に計算することな 現習の業事を基に、数の仕組みに着目し、2位数の加速及びその逆の域法の事事の仕方を、図や式などを用いて考え表現している。 2 3位数の加速の筆等の仕方について、関や式などを用いて考えた過程や結果を提り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 2 3位数の加速の筆等の仕方について、関や式などを用いて考えた過程や結果を提り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 2 3位数の加速の事業の仕方について、関や式などを用いて考えた過程や結果を提り返り、数理的な処理のように気子さ今後の生活や学習に活用しようとしている。	
計算のしたがたをくぶっと 「本法 知識の計算方法について、計算法則、数の見がや構成を活用して考えた過程や結果を疑り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	
8 か 20 数の加比及びその逆の減決の計算について、1位数などの基本的な計算を基にできることを知り、それらの筆算の仕方について理解し、筆算の手頭を基に確実に計算することなっ 10 2	ている。
□ つ 第の しかたを 考え は 1	
9 う さんかくや しかくの 形を は 2、3位数の加減の筆算の仕方について、図や式などを用いて考えた過程や結果を挺り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 コール・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン	できる。
こんがくてしかくのかと 170	
しらべよう 一内がくロ内が、医内、スカル、エカル、医内一内がつ意外くに食を経済することでは、熱を折りて医内を行うたり、スカルくエカルなことで盛じたりすることができる。	
2 辺や頂点など図形を構成する要素に着目し、三角形や四角形、長方形や正方形などの特徴を見いだし、説明している。	
字 中の回回にあるものの形の中から、三角形で図角形、長方形や正方形化とを見つけ図形としてとらえ、数字的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに張うき令を 「NA 美法が別いられる場合や最近九について知り、養命の意味を得比。国して成り立つ性質(策数317つ作表さきを300年)ストラスト	
期	版で図, 音楽, 氏で表したり, 米佐元元 (5, 2, 5, 4
10 新しい 計算を 考えよう 数量の関係に着目し、累加の考えや象数と積の関係などを基に、乗法九九の構成の仕方を考え表現している。 1. 数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理や乗法のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	
[47]	
療法丸九について知り、乗法に関して成り立つ性質の理解を確実にするとともに、乗法が用いられる場面を給や図、言葉、衣で表したり、乗法九九 (6, 7, 8, 9, 10段) を構成 以1	し、確実に唱えたりすることができる。
・ 九九をつくろう 数量の関係に著目し、乗注について成り立つ性質やきまりを用いて、乗注九九の機成の仕方を表えて来し、表現している。	
12 [1]	
L± 数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理や、乘法について成り立つ性質やきまりを用いることのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 体1	
4位数について、数の読み方や表し方、数の構成や大小、順序、数の相対的な大きさを理解し、数を書いたり読んだり、数や式の大小・相等関係を、不等号や等号を用いて表した	りすることができる。
1000より入さい 数を し	
らべよう し 数のまとまりに着目して数を調べた過程や結果を取り返り、数理的な処理のよさに知づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	
長い 長さを はかって あ 長さについて単位と関定の意味や、単位の関係を理解し、およその見当をつけながら量の感覚を身につけるとともに、長さの単位を適切に選択して身の回りのものの長さを測定し表現することができる。 らわそう 上位単位の必要性に気づき、身の回りのものの特徴を長さに着目してとらえ、既習の学習を基に長いものの長さを表す単位について考えている。	
□ 1 上に単年化の免疫性に残って、者が即つのものの仲間を方式に乗出してこう人、後の中が中毒を無に戻ってものが元さます。平底についてもえている。	
□ 加速と減速の相互関係について理解し、加速と減速の相互関係を表した限を用いて、関や式に表し、問題を解決することができる。	
3 分けた 大きさの あらわし 数量の関係に着目し、場面を図に表して構造をとらえている。	
学 2 方を 加法と検法の相互関係に関心をもち、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	
期 しらべよう 具体物を操作することなどによって、1/2や1/3などの簡単な分数について知り、いくつかに等分した大きさの1つ分をつくりそれらの大きさを分数を使って表すことができる。 10 大き こんがよう 元の大きさと分けた大きさの関係中、分けた大きさは全て等しいことに着目して分数について考えたり、2つの数量の関係に着目して倍や分数の意味についてとらえたりしている	
での大ささな対けた大さな関係が、対けた大ささは至く等した。ことを着りという表に対して対象に対して対象に対しては、この意識の関係が着目しく関で対象の意味についくとうえたりとしいる。 1.	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
权	
3 はこの形をしらべよう 【思 頂点、辺、面などの図形を構成する要素に着目し、箱の形の特徴を見いだし、説明している。	
[‡	
「中国 中国 中国 中国 中国 中国 中国 中国	